

人が住まいに求めるもの

# 思想の住宅

理想の住まいの条件は、人によってさまざま。ひとつとして同じ答えはありません。ビジョンを汲み取ったうえで、柔軟な切り口でプランを提案し、住み手と建築家、お互いの価値観を交差させながら、豊かさを感じられる家を完成させていく——。それがアーネストが目指す住まいづくりであり、これまで実現させてきたことです。その背景にある哲学を、実例と共に読み解きます。

取材協力 アーネストホーム、建築雑誌「家」p.160-167、矢野信夫(p.169の人物) 取材・文 志村香織

曲線を生かして  
光と緑を取り込む家

Rの壁の家

所在地 東京都 豊洲橋地区 夫婦+子供2人

上質な素材がリビングに温もりを与える

北西に向けたガラスの開口に対し、リビングの東側の壁一面には鉄平石を採用。表情豊かな存在感の効果で、ガラスがより美しく映える。

**立地を生かした間取りと  
素材選びが開放感を生む**

土地の形は道路沿いの東側から見  
て逆L字型。その逆L字の底辺にあ  
たる西側が面しているのは緑がいっ  
ぱいの公園という立地条件を最大限  
に生かした、都内のT邸。玄関のド  
アを開けると、右手にはドーム型の  
アールを描いた壁、そして目の前に  
はアプローチから続くエントランス  
がすっとのび、まるでアートギャラ  
リーのような印象です。歩みを進め  
ると、トップライトからの光を感じ、  
視線はその先のリビング、さらに開  
口の向こうの木々の緑へと心地よく  
抜けていきます。

えて進んだのは、北西の庭とその向  
こうに広がる緑の借景を取り込ん  
だ。四季を彩る木々と自然光が、ゲ  
ストの目を和ませます。一方、ファミ  
リールームは南側の内庭に向かっ  
て開いています。小さな子供たちを  
遊ばせていても目が届くよう、キッ  
チンと一体化させた空間は、家族の  
憩いのスペースとなっています。

素材を効果的に用いているのもT  
邸の特徴。エントランスはコンクリ  
ートの壁に対し、床は無垢のウォー  
ルナットのフローリングを採用する  
ことで、住宅らしい温かさを演出。  
リビングは一面を鉄平石とし、スタ  
イリッシュな空間にやわらかさを加  
えています。こうしてコントラスト  
をつけることにより、それぞれの素  
材のよさが引き出され、住まい全体  
に快適なリズムが生まれています。



ガラスと木のサッシのコラボレーションがス  
タイリッシュな印象。庭は北西側のため木々は  
南側のリビングに顔を向け、のびやかに育る。



内と外とをつなぐウッドデッキ

上 ファミリールームは2面をガラスとし、ウッドデッキ  
とフラットにつなげて抜群の開放感を出している。フ  
ローリングとウッドデッキ、軒裏の素材も揃え、一体感  
をもたせた。下 外観、アールの壁はアプローチに立っ  
たときに外部からの視線をシャットアウトする役割も。



高いカーブを描いたアプローチとエントランスの壁にトップライトからの光が時間によって異なる模様を描き、奥行きを感ぜさせる。

弧を描くアプローチがゲストの期待を誘う



DATA

Rの家の新  
敷地面積 767.63㎡  
総床面積 512.63㎡  
棟上げ 63.7m  
H1 15.2m  
C1 107.10m  
H2 4.1m  
坪数 150坪 第一種住居地域  
構造 鉄骨コンクリート造  
完成 2009年11月  
設計 株式会社 坂井建築  
施工 株式会社 坂井建築



## 心地よい住宅は緻密なディテールがつくる

1 庭からリビングを望む。手前のシンボルツリーはヤマザクラ。北側に建つマンションからの視線を遮る役目も果たしている。2 リビングから続くダイニングは、壁とフローリング、テーブルセットを木で統一し、温かみのある空間に仕上げた。飾り棚の壁にはブラウンとゴールドのモザイクタイルを敷き詰め、アクセントに。ガラスの開口からは松の大木の情景を見晴らせる。3 キッチンのインテリアもリビングと同様に木目を採用。調理中も自然光と外の緑を感じられる。4 2階の子供部屋は、将来的に部屋を分割できるよう配慮した。5 地下1階には来客用のスペースも完備したガレージとゴルフ用のプレイルームが。6 リビングをはじめ、フローリングの床はすべてワックス仕上げ。つやを控えることで、家全体に有機的なムードを与える効果が、子供たちも素足で安全に走りまわれる。7 子供を庭で遊ばせたいという要望から、池を設けた。いずれは水の生物を育てる予定。8 2階のバスルームには檜風呂を設置。開放的でありながら、バスコートのフェンスがプライバシーを保つ。